

市政記者各位

平成 29 年 12 月 6 日
福岡市博物館

企画展「学問の神—天神さま—」 天満宮御縁起 初公開！



天満宮御縁起（部分）紙本着色 江戸時代 鳥飼八幡宮

神か、怨霊か？菅原道真が“天神”となった由来をひも解く

記

福岡市博物館では、館蔵資料や市内外の文化財を学芸員が研究テーマに沿って紹介する企画展示を定期的に更新しています。12月26日（火）から公開の企画展「学問の神—天神さま—」では、近年存在が確認された鳥飼八幡宮（福岡市中央区）所蔵「天満宮御縁起」（てんまんぐうごえんぎ）を初めて公開します。是非周知していただくとともに、取材いただきますようご案内いたします。

1. 「天満宮御縁起」初公開！

「天満宮御縁起」は、菅原道真の生涯と死後その怨霊が天神として祀られる過程を描いた天神縁起絵巻の一例です。今回、初めて一般に公開される鳥飼八幡宮本は上・下2巻からなり、奥書から江戸時代の享保17年（1732）に完成したこと、福岡藩のお抱え絵師であった狩野昌運（しょううん）の子、狩野一信（かずのぶ）が描いたことがわかる資料的価値が高い作品です。

2. 展示詳細

平安時代中期の政治家・学者であった菅原道真（845～903）は、藤原氏との政争により大宰府に左遷され、非業の最期を遂げた人物です。道真は死後、天変地異を引き起こす怨霊として人々に恐れられますが、やがて学問・文芸の神「天神」として敬われ各地に天満宮が造られました。また、様々な伝説にもとづいた縁起絵巻や神像としての肖像画も数多く制作されました。本展示では福岡ゆかりの天神信仰に注目し、天神菅原道真にまつわる作品を紹介します。

3. 展示概要

日時：平成 29 年 12 月 26 日(火)～平成 30 年 2 月 25 日(日)
会場：福岡市博物館 2 階 企画展示室 1
料金：一般 200 円 高・大生 150 円 中学生以下無料

■お問い合わせ先

福岡市博物館 学芸課 米倉、末吉 管理課 中山、岩佐
電話 092-845-5011 FAX 845-5019
〒814-0001 早良区百道浜 3-1-1

受験生の
みなさん！
ぜひ見てね！



渡唐天神立像(ととうてんじんりゅうぞう) 木造彩色 江戸時代 水鏡天満宮